

# 下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和町1丁目1番地11号  
〒320-8596  
下野新聞社

電話 028-625-1111  
028-625-1121  
028-625-1120(庶務)  
028-625-1134(編集・制作)  
028-625-1133(広告)

下野新聞社ホームページ  
<http://www.shimotsuke.co.jp/>

## 号外

下野新聞社は東日本大震災に関する情報や道路、公共交通など生活情報をパソコンや携帯電話のインターネットサイト、下野新聞「SOON」で速報しています。ツイッター(@shimot\_suke\_np)でも情報発信しています。

# 東日本大震災 5県で21万人避難

東北、関東の東日本に甚大な被害をもたらした国内

史上最大の地震は、12日も強い余震が頻発した。被災地の警察本部がまとめた死者は計434人、行方不明者計784人になる大震災となった。岩手県陸前高田市など太平洋沿岸では津波により壊滅的な被害が出た地域があり、死者・行方不明者は計千数百人となるのは確実。警察庁によると、岩手、福島など5県で計約21万人が避難した。

## 陸前高田ほぼ壊滅

福島第1原発は放射性物質が漏えい、第2原発は冷却機能を喪失しており、政府は両原発に「原子力緊急事態宣言」を出し第1原発は半径10キ、第2原発は3キ以内の住民に避難を指示。福島県双葉町などの住民計約8万人が避難を始めた。第1原発1号機は正門近くの放射線量が通常の8倍以上に上昇。第2原発は、非常時に炉心を冷やすプールの水が100度を超えた。

陸前高田市は8割以上が水没、宮古市の沿岸部と山田町のほぼ全域が水没した。陸上自衛隊によると、宮城県女川町は大津波で町全体が冠水、壊滅状態となった。枝野官房長官は記者会見で、被災地の中で岩手県住田町、大槌町と連絡が取れていないと明らかにした。宮城県気仙沼市では最大で直径1キに及ぶ大規模な火災が3カ所で発生した。警察庁によると、住宅など建物2504戸が全壊し、397カ所で道路が損壊した。

長野県栄村では12日未明、震度6強の地震があった。新潟県中越も6弱、群馬県北部と新潟県上越で5強を観測。気象庁は「大地震に誘発された可能性は否定できない」としている。青森県八戸市の災害対策本部によると、岩手県・野田湾で12日朝、4層の津波を観測。岩手県警によると、自衛隊や警察などの援助隊は被災地でヘリコプターによる救援活動を始めた。防衛省は、派遣する自衛隊員を約2万人に増員する。JR東日本は東北、山形、秋田の各新幹線を12日も終日運休。東北など9自動車道が全面通行止め。気象庁によると、有感の余震は100回を超えた。日本海側に津波注意報が出て、日本列島の海岸線全てが大津波、津波警報・注意報の対象となった。

## 福島原発 首相視察

政府は12日午前、首相官邸に閣僚を集めて東日本大震災の緊急災害対策本部会議を開き、枝野幸男官房長官が「千人以上が命を落としたりとみられる。それを超える大幅な被害が生じており、内閣を挙げ、国力を挙

げて救援に取り組む」と表明した。続いて開かれた原子力災害対策本部会議では、海江田万里経済産業相は東京電力福島第1原発の放射性物質漏えいを踏まえ、「難局の克服に向け頑張りたい」と述べた。一方、菅直人首相はこの日朝、ヘリコプターで福島第1原発を訪れ視察。説明に当たった東電幹部に「住民のことを第一に考えて早めの対応をお願いしたい」と求めた。津波の被害が大

きい宮城、福島両県の海岸部も上空から視察。この後、官邸で記者団に「あらためて津波の被害が大い」と実感した」と述べた。政府は岩手県へ平野達男内閣府副大臣を団長とする調査団を派遣。被害の全容把握と被災者の救援に全力を尽くすとともに、各地で寸断された交通機関、ライフラインの復旧を急ぐ。吉田泉財務政務官を団長とする調査団は福島県内を視察した。



火災による煙に覆われる宮城県気仙沼市街地=12日午前8時12分、共同通信社ヘリから

# 死者不明、千人超